



宮城県業務説明会

建築

**Miyagi
Prefectural
Government**

建築職の仕事

- ・ 建築行政分野 （建築確認、開発許可、建築物の耐震、防災対策）
- ・ 営繕分野 （県有施設の新築、改修工事の設計・工事監理）
- ・ まちづくり分野 （都市計画、復興まちづくり）
- ・ 住宅行政分野 （住宅施策の展開、公営住宅の整備等）

配属先

※数字は建築職員の配属人数 計82名

- ・ 本庁各課 （建築宅地課14、営繕課20、都市計画課2、住宅課12）
- ・ 地方機関 （大河原土木事務所4、仙台土木事務所10、北部土木事務所4、東部土木事務所4、気仙沼土木事務所4）
- そのほか 総務部2、教育庁2、出納局1、環境生活部2、石川県1
など幅広い分野で活躍

自己紹介 宮城県出身

H14.3月 県内大学卒業

H14.4月～ 民間企業入社
(総合建設会社にて建築工事施工管理)

H14～大阪支店、H17～東北支店

R5.3月～ 民間企業退社

単身赴任が多く、共働き世帯で子育てが大変に

R5.4月～ 宮城県入庁 土木部 住宅課 住宅整備班

県営住宅の改修に伴う設計、工事発注、工事管理

志望動機

なぜ公務員だった？

- ・前職の業務で、公務員の建築職と接する機会が多く、なんとなく転職後の仕事のイメージが出来ていた。
- ・ワークライフバランスの推進に取り組まれており、家庭やプレーベートの時間が確保出ると考えたことから。

なんで宮城県庁を選んだ？

- ・多くの自然災害を経験して復興してきている宮城県は、豊富な能力と実績のある職員が多く、その中で自身も成長できると考えたことから。

担当した仕事

住宅課 住宅整備班

- ・ 県営住宅の整備
- ・ 市町村営住宅の整備指導
- ・ 災害公営住宅に関する市町支援



担当業務

- 県営住宅の整備 （100団地 546棟 9,039戸）
 - ・ 県営住宅の改修工事の設計、発注、監督員
 - ・ 宮城県県営住宅ストック総合活用計画の改定

大変だったこと

・ 社会人経験者ではあるものの、行政での職務は初めての経験でしたので、国や他県、市町村、内外他部署との関係性や、会議の進め方、書類の作成や整理の方法など新たに覚えることが沢山あることです。

都度、上司や同僚が根拠立てて、丁寧に指導してくれるので大変助かりました。県職員には全員で育てる・助け合う文化があるように感じます。

やりがい、心掛けてのこと

- ・ 年間のスケジュールを基に日々の業務目標を立てるようにしています。予定や目標とおりに行かない時もありますが、経過報告を必ずするようにしています。
- ・ 日々の目標を達成し、仕事とプライベート、家庭の両立が出来ることが次のやりがいに繋がってます。

1日のスケジュール

8:00 出勤 班内打合せ 10:00 担当する工事現場 12:00 昼休み
設計業務 で施工者と打合せ

13:00 帰庁
打合せ記録作成

14:00 図面チェックや
工事発注業務

16:45 退勤
こどもの迎え

※時差勤務制度により7:00～10:00の間に勤務開始時間を選ぶのが子育て・介護世代にはとてもありがたい制度です。

働き方・休み方

- ・担当業務であっても、定期的に班内や課内で共有し、業務の進捗や対応方針について皆話し合っていて決めていることもあり、相談しやすい雰囲気もあり、担当外の業務も把握できます。
- ・職場は、仕事とプライベートのバランスを大事にしており、仕事に支障が無いように調整した上で長期休暇や急な事情での時間給も取りやすい職場環境です。

入庁前のイメージとギャップ

■入庁前のイメージ

- ・ 仕事の内容が決まっていて、変化があまりなさそう
- ・ 県庁への来客はなく、会う人が決まっていそう

■入庁してみたら

- ・ 各課の中でも仕事内容は班毎に細分化されています。また、3年毎に異動がありますので新しい仕事にチャレンジできます。
- ・ 市町村の職員・住民の方からの相談、設計者や工事業業者など来庁者は多く、業務の関係者は多岐に渡っております。

前職とココが違った！ 前職の経験が役に立った！



休日の過ごし方が違った

民間企業時とは異なり、業務用の携帯電話がないことから、仕事とプライベートとそれぞれ集中することができる。



建設工事管理の経験が役に立った

住宅課、営繕課の業務は工事の設計、発注、監督員業務など前職でも関係のある業務でしたので、比較的早めに馴染むことができました。

職場の雰囲気

- ・ 転職前は公務員はマニュアル通りでちょっと暗め、自分の事以外は知りません的なイメージでした。
- ・ しかし実際の職場は、臨機応変な対応を求められることも多く、職場内は常に誰か話している声が聞こえており、困った話をすれば聞きつけて、アドバイスや情報をくれるなど、とても風通しがよい雰囲気です。

働いて感じる宮城県職員の魅力

- ・一人の県民として、ふるさとみやぎのために貢献する職員
- ・あつい志を持ち、県行政のプロフェッショナルとして自律的に行動する職員
- ・物事の本質を見極め、創造性豊かに課題解決に取り組む職員
- ・前向きとしなやかな粘り強さを持って挑戦する職員

こんな職員がたくさんいます。

※みやぎ人材育成基本方針の目指す職員像具体例より

私の公務員試験対策

- ・書店で公務員試験対策（建築職）の問題集を購入し勉強しました。
- ・前職時代に受験した建築士、施工管理技士、コンクリート技士などの受験勉強も役立ったと感じます。

みなさんへのメッセージ

私は民間企業での経験を生かせる部署に配属されました。
入庁3年目を迎え来年は異動する可能性があり、自身のスキルアップを目標にこれまで経験したことのない建築行政分野（確認や許可業務など）を希望しています。丁寧に指導してもらえるのでそんな気持ちになれる職場環境です。

みなさんのこれまでの経験活かし、ともにスキルアップし県行政に活かして富県みやぎを創造していきましょう。